

## 平成24年度 第4回公立大学法人鳥取環境大学経営審議会 議事要旨

- 日 時 平成24年10月2日（火） 14:00～16:00
- 場 所 鳥取環境大学 大会議室（本部講義棟3階）
- 出席者 古澤巖理事長、河原正彦副理事長、田中洋介理事、道上正規理事、若原道昭理事、渡邊良人理事、清水昭允委員、林田英樹委員、吉田圭子委員  
[9名/10名]

### 【議事】

#### 1 前回議事要旨の確認

原案了承

#### 2 報告事項

##### (1) 近況報告

事務局から、資料に基づき、在籍者の状況、平成24年度就職活動の状況等大学の近況について報告があった。

##### (2) 鳥取環境大学における研究活動上の不正行為等の防止等に関する規程等について

事務局から、資料に基づき、鳥取環境大学における研究活動上の不正行為等に関する規程、鳥取環境大学研究費の内部監査に係る細則について報告があった。

委員による主な意見等は次のとおり。（○:質問・意見、→:回答 以下同様）

○研究者の倫理規程等は整備していないのか。

→未整備である。利益相反に係わる整理も含めて、今後、検討していく。

○研究費以外の内部監査制度はあるのか。

→未整備である。今後、状況を鑑みながら検討していく。

#### 3 審議事項

##### (1) 平成25年度予算申請方針について

事務局から、資料に基づき平成25年度予算編成方針についての説明があり、審議の結果原案のとおり承認された。

##### (2) 平成24年度 年度計画について

事務局から、資料に基づき平成24年度年度計画についての説明があり、審議の結果原案のとおり承認された。

- 予算、収支計画、資金計画において、項目の名称が同じであるにもかかわらず金額に差異が生じている。何か理由はあるのか。
  - 項目の名称は同じであっても算定方法が異なっている部分があるため、各資料において金額が一致しない場合がある。次回以降は内訳を記載する等、資料に工夫をする。
- 財務上の比率（消費支出比率、消費収支比率、教研経費比率、人件費比率等）を明らかにし、他の公立大学の数字との比較も提示してほしい。
  - 参考資料として準備していく。
- 国際交流、留学生の受入れを行う場合の必要がそれ相応に必要だろうが、どのように考えているのか。
  - 直ちに整備できない部分も多くある。短期の受入れ等の実現可能な部分から対応していくよう考えている。
- 同窓会組織、保護者会の組織化等も重要な要件ではないか。
- リメディアル教育の現状はどうか。
  - 参加学生が開始当初から減少している。今年度は外部の講師による対応だったが、来年度は学内の教員で対応することを検討している。
- 地域イノベーション研究センターの活動状況はどうか。
  - TORC（旧とっとり総研）の研究員を教員として受入れているが、今期は講義についてはプロジェクト研究のみを担当させている。各研究者の活動は継続しており、地域と結びついた研究活動においても成果が出てくるものと考えている。

### **(3) 公立大学法人鳥取環境大学職員の懲戒等に関する規程等について**

事務局から、資料に基づき公立大学法人鳥取環境大学職員の懲戒等に関する規程、公立大学法人鳥取環境大学職員の懲戒処分の基準についての説明があり、審議の結果原案のとおり承認された。

- 学校法人の場合には懲戒の処分に際しては理事会の議を経るが、公立大学法人ではどのような手続きを踏むのか。
  - 理事会はないため、規程に基づき理事長の判断となる。
- 教員に対しての裁量労働制導入は検討しないのか。
  - 現状の勤務実績を踏まえ、検討していく。

## **4 その他**

今後の本会議の開催は年内に1回、1月から3月の間に2回を予定している。